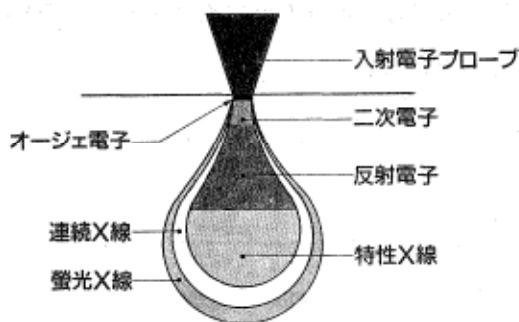
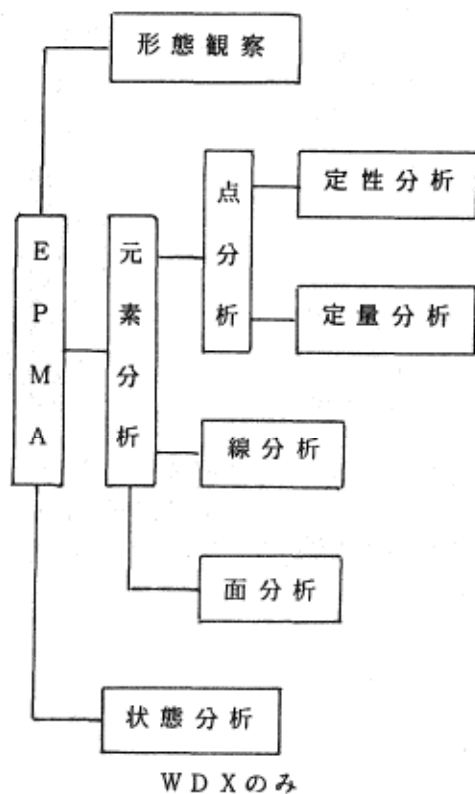


EPMAによる評価事例

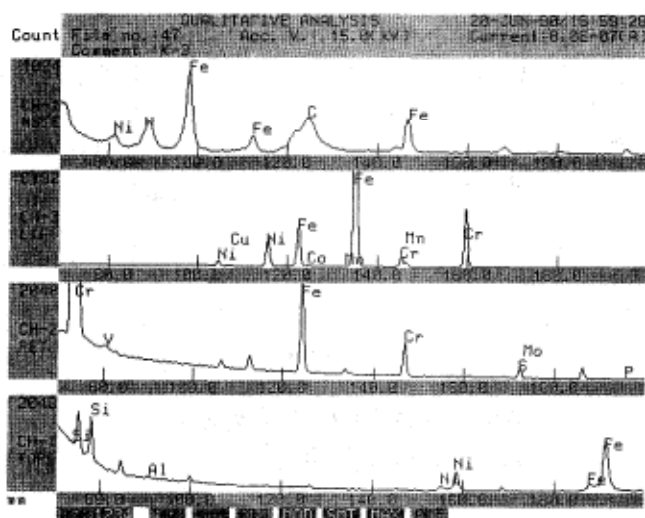
窯業部

EPMAは、電子プローブ（ビーム）を試料表面に照射し、その部分から発生する特性X線の波長と強度及び二次電子や反射電子の量などを測定することによって、試料表面の極微小領域から広い範囲までの観察や元素分析を可能とする装置です。

測定対象として金属、鉱物、半導体、セラミック、生物関連など広い応用範囲に適用できます。その概要を以下に示します。



量子発生深さと空間分解能



窒化処理SUSの定性分析